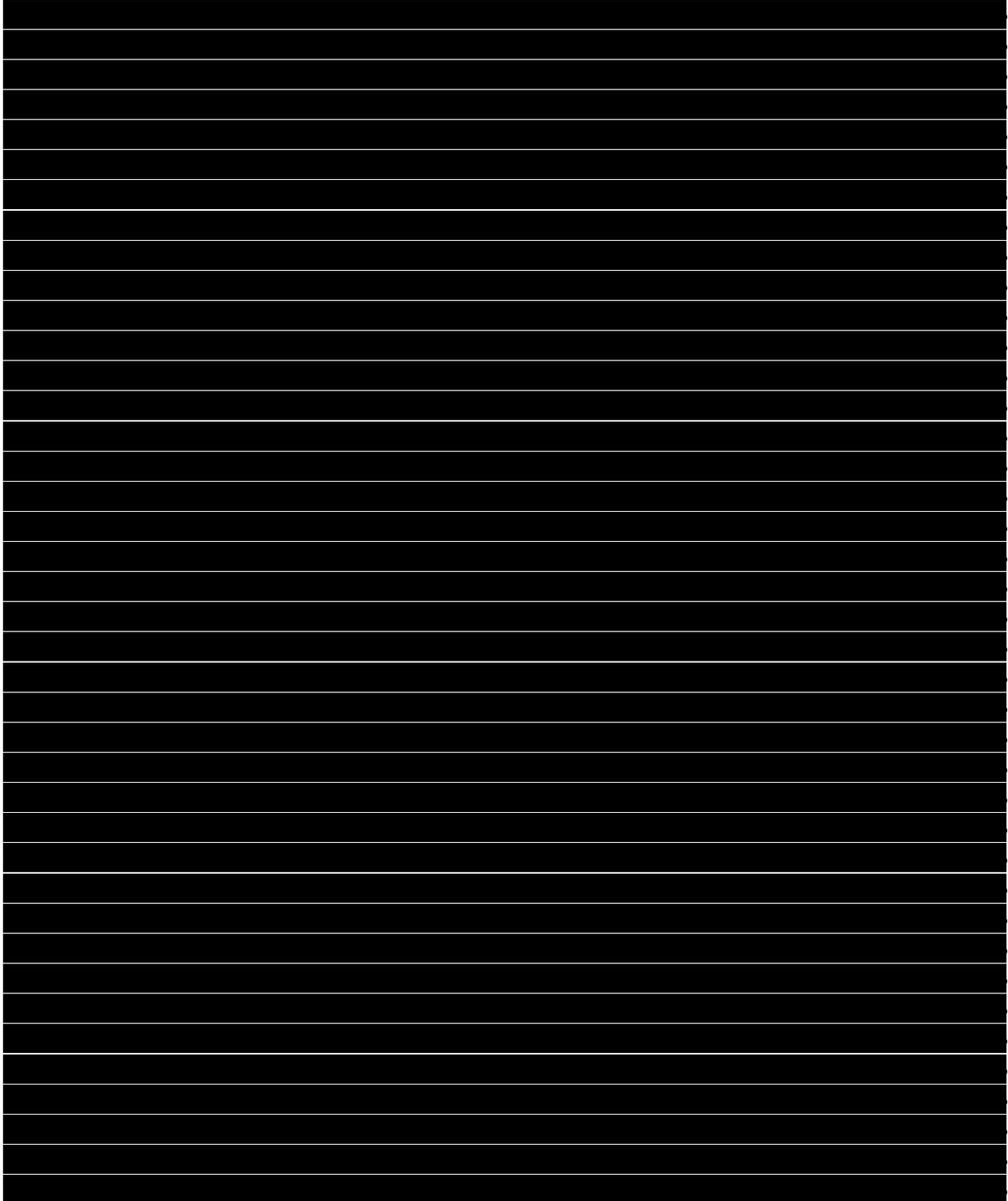


入学試験問題 (英語 A)

(2025.2.15 実施)

受験番号		氏名		得点	
------	--	----	--	----	--

**問題** 次の英文を読み、設問 1～4 に解答しなさい。



\*この部分は著作権の関係上公表しません

(出典 Parvis F. Rad(2001) *Project Estimating and Cost Management*, MANAGEMENT CONCEPTS.)

## 解答例

設問1 下線部(1)を和訳しなさい。

範囲見積もりは、初期段階での見積もりの精度を向上させるための別の方法である。ある要素のコストについて、1つ見積もるのではなく、可能性のあるコストの範囲を決める方法である。この考えは、PERT技法の基礎となっていて、プロジェクト期間の確率分布は、個々の活動期間に対して決定した複数の所要期間をもとに計算される。そうすることで、見積もり担当者によって予測された1つの期間見積もりだけでなく、可能性のありそうな期間の範囲も計算できる。

設問2 下線部(2)を和訳しなさい。

範囲見積もりは、プロジェクトのコストの見積もりにおいても、同様の統計的な原則を利用して、各要素のコストは確率分布にもとづいている。そうすることで、WBS上のある要素について可能性のあるコストについて、プロジェクトマネージャーが示す1つだけではなく、さらに2つ提供することになる。1つは最も悲観的なコスト、もう1つは最も楽観的なコストである。

これらの3つの値を利用することで、要素またはプロジェクトについて最も可能性のあるコストが決定される。もし、完成したWBS上のすべての要素に対して、この3つの値のセットが利用できるなら、乱数を発生させるツールを使ってプロジェクトのコストを決定できる。

設問3 下線部(3)を和訳しなさい。

多くの場合、プロジェクトマネージャーが計算した単一の見積もり値よりも、この統計的な方法を適用して計算された値のほうが大きくなる。この事実は、プロジェクトマネージャーと見積もり担当者は、基本的に楽観的であるため、プロジェクトのコストや期間を少なく見積もる傾向があることを示している。

設問4 下線部(a)と(b)の値を計算しなさい(計算式も残しなさい)。

$$(a) (5 + 4 \times 8 + 35) \div 6 = 12$$

$$(b) (5 + 4 \times 20 + 35) \div 6 = 20$$

### 【出題の意図】

商学研究科で研究をするために必要な英語文献読解力を問うとともに、理解した内容を論理的に表現することができるかを確認している。

設問1は、コストの範囲見積もりについて出題部分を翻訳してもらうことで、英語論文を読むための基礎力を問うている。

設問2は、範囲見積もりについて、基礎的な知識を有しているかを問うている。楽観値、最可能値、悲観値の3つの値を使ってコストを見積もる三点見積り法を理解しているかを確認している。たとえ、三点見積り法を知らなくても、英文を正確に解釈すれば、日本語文に変換することは可能である。

設問3は、三点見積り法の特長について理解できているかを確認している。この設問も、前後の文脈や全体の流れから意味を推測すれば、日本語文に変換することは可能である。

設問4は、文章全体を正確に理解できているかについて、コストの期待値を計算していただくことで判定している。